

教 育 文 化 委 員 会 記 録 (No.2)

1 日 時 令和7年3月11日(火)
午前10時00分 開会
午前10時15分 閉会

2 場 所 第4委員会室

3 出席委員(9人)

| | | | |
|------|--------|-----|-------|
| 副委員長 | 小宮 けい子 | 委 員 | 宮崎 吉輝 |
| 委 員 | 吉田 幸正 | 委 員 | 立山 幸子 |
| 委 員 | 岡本 義之 | 委 員 | 山田 大輔 |
| 委 員 | 宇土 浩一郎 | 委 員 | 有田 絵里 |
| 委 員 | 本田 一郎 | | |

4 欠席委員(1人)

委員長 高橋 都

5 出席説明員

| | | | |
|------------|-------|-------|--------|
| 都市ブランド創造局長 | 井上 保之 | 教 育 長 | 田島 裕美 |
| 教 育 次 長 | 高松 淳子 | | 外 関係職員 |

6 事務局職員

委員会担当係長 梅林 莉果 書 記 梅野 まどか

7 付議事件及び会議結果

| 番号 | 付 議 事 件 | 会 議 結 果 |
|----|-------------------------------------|--------------------------|
| 1 | 議案第63号 令和6年度北九州市一般会計補正予算(第6号)のうち所管分 | 可決すべきものと決定した。 |
| 2 | 所管事務の調査について | 調査事件の選定について、委員間での討議を行った。 |

8 会議の経過

(東日本大震災の犠牲者への黙とうを行った。)

○副委員長（小宮けい子君）開会します。

本日は、議案の採決及び所管事務の調査を行います。

初めに、議案第63号のうち所管分を議題とします。

これより採決を行います。

議案第63号のうち所管分については、可決すべきものと決定することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

賛成多数であります。よって、議案第63号のうち所管分については可決すべきものと決定しました。

以上で議案の審査を終わります。

なお、委員長報告については、副委員長に一任をお願いいたします。

ここで、執行部の職員は退室を願います。お疲れさまでした。

(執行部退室)

次に、所管事務の調査を行います。

調査事件の選定について、委員の皆様からいただいた項目を取りまとめてお手元に配付しております。この案についての意見を伺いたいと思います。

では、意見はありませんか。吉田委員。

○委員（吉田幸正君）1つ質問させてください。これは委員長と電話でやり取りとかはできていて、反映されているということですよね。了解しました。ありがとうございました。

○副委員長（小宮けい子君）宮崎委員。

○委員（宮崎吉輝君）私は観光と学校給食を上げさせていただいております。北九州市としても観光は重要であるということで、いろいろ市の政策の中にうたわれておりますし、特にインバウンドをどうやってこの北九州市に呼び込むかと、資源はあるけど生かしていないという現状をどうやって生かすかということも含めて、所管事務の調査に入れてはどうかというのが1つと、給食無償化についても今、令和8年度ということで進める方向でいろいろ議論が進んでおりますけども、ただにするだけではなくて、給食の充実、中身、そういったものもしっかりと議会として、委員会として議論していきたいなということで2点上げております。以上です。

○副委員長（小宮けい子君）有田委員。

○委員（有田絵里君）私は3番と9番を上げました。観光大都市への進化を目指してということと、子ども基本条例の実現に向けた調査研究ということで2つ上げております。観光大都市への進化を目指してというのは、今回の予算案で上げられておりました市長の思いもございません。観光をしっかりとこの北九州市、進めていかなければならないという思いにしっかりと私たち議員一同、この北九州市もっともっとポテンシャルがあるということを皆さん御存じでい

らっしゃると思いますので、この観光大都市、どんな魅力があるのかというのをまたさらに発信できるようなやり方等々研究できたらいいなと思って今回上げております。

あと子ども基本条例は、昨年度、令和6年12月に制定されたばかりですがけれども、しっかりと具体的案がこの中にぎっしり詰まっておりますので、教育委員会に係る内容というのをしっかりと調査研究、さらに続けていきたいということで、この教育文化委員会でしっかりと研究していけたらいいんじゃないかなと思って上げさせていただきました。以上です。

○副委員長（小宮けい子君）ほかにございませんか。吉田委員。

○委員（吉田幸正君）僕はここで文化と書かせてもらったんですけども、部活の地域移行が地域展開となって、今年度、来年度ぐらいから実態になるときに、先進的な地域展開をやっていることとか、これはスポーツもですけども、何かそういうことを勉強したいなということが1つと、それと今有田委員が言われたように、観光は大きな柱になっていますので、そこは1つ勉強してみたいなと意見として申し上げておきます。以上です。

○副委員長（小宮けい子君）ほかにございませんか。本田委員。

○委員（本田一郎君）持続可能な観光についてでありますけれども、スポーツは観戦するか参加するかと思っています。また、現在で言えば大きな大会としては北九州市においてマラソンですよね、北九州マラソン等がありますけれども、これインバウンドも含めた観光客も参加していただくとか、観戦していただくというような仕組みができていければという思いで今回出させていただきました。以上です。

○副委員長（小宮けい子君）山田委員。

○委員（山田大輔君）おはようございます。山田でございます。私も吉田委員がおっしゃられたように、部活の地域展開、地域移行の話もあるんですけども、北九州市には4つのプロスポーツチームがあって、なおかつ実業団のチームもかなり多いということで、アスリートの第2の人生を生かすためにも、こういう部活動の地域移行、地域展開というのに生かしてもいいのかなと個人的には思っています。自分自身も知り合いにそういうアスリートが結構いますので、せっかくそういう人材がいるのであれば生かすべきかなというところで、大卒で子供たちの教育環境についてということで書かせていただきました。

昨日も出ていました、私学の助成金は私も結構問題だなと思ってしまして、給食の問題も私学の子供たちは、私の知っているところは小学生で月1万円かかるそうです。そういうところに対しても、私は下関市の子だったり行橋市の子だったりはあると思うんですけども、どこまでの子供たちを見るのか、大阪とか東京のような高校の無償化のようにするのかどうなのかというのはちょっと見ていきたいなと思います。

部活動については、熊本とか愛知とか神戸とか先んじてやっているところがありますので、そういうのを勉強させていただきたいなと思いますし、観光は皆さんが言われたとおりであります。私も西のゴールデンルートは本当に、本会議でも言いましたけど、ちょっと北九州市は

置いていかれているなという思いがありますので、観光と教育と、それをスポーツを軸にするのか、どこを軸にするのかというところで、皆さんとやっていきたいなと思います。以上です。

○副委員長（小宮けい子君） ありがとうございます。ほかにございませんか。岡本委員。

○委員（岡本義之君） 都市ブランド創造局の所管に関しては、私は出していなかったんですけど、できたら観光大都市への進化を目指してというところで、観光大都市は市長が目指しているところなんで、ぜひこれは実現に向けて力を合わせてやっていきたいという思いもありますので、採用されるといいなと思っております。

それから、部活の移行等に関してなんですが、やはり教育委員会の所管、学校での部活から民間に移行していく中で、私の同級生でアスリートの方たちの体をコントロールというか、整える、コンディショニングというのをやっている有名な人がいるんだけど、やっぱり民間に行くと、いろいろ指導の在り方なんか千差万別になってきて、下手すると子供の将来の体を壊してしまう、そういったところを今やろうと、全国を回って指導者に対する指導をやっているみたいな人もいるんだけど、その辺、結構非常に大事になってくるんじゃないかなと思うんで、部活の地域移行に関してはしっかり委員会としてもやられたら。

教育委員会です。今も教育委員会だったと思いますけど、私はこどもまんなかで質の高い教育環境の充実を図るための教育大綱、5つの柱ということで、教育大綱は北九州市の教育委員会のいわゆる基本になるんですけど、あまりにも対象が広過ぎるかなと思ったけど、これを上げておくと何でもできるなと思いましたので、全てこれでやると入ってくるんじゃないかな、特にこの大綱の中に初めて、私も議会で言いましたウエルビーイングについてに盛り込まれましたので、ちょっと大事かなと思って上げさせてもらいました。以上です。

○副委員長（小宮けい子君） 宇土委員。

○委員（宇土浩一郎君） おはようございます。宇土浩一郎です。私はオーガニック給食の広がりについて、学校給食無償化の拡大とともに、有機農法による地元産農産物を給食に提供する自治体が増えている、食育とともに地元経済にとっても有益な取組になるのではないかとこれを上げました。

そして、2つ目に、高輪築堤の保存計画について、日本最古の鉄道遺跡がどう保存されているのか、初代門司駅遺構保存の参考にしていきたい、その2つを上げました。以上です。

○副委員長（小宮けい子君） 立山委員。

○委員（立山幸子君） 私は、不登校の現状と課題についてを上げさせていただいたんですけども、やっぱり全国的にもですけども、北九州市も不登校児が年々増えているという現状があります。今や不登校が問題というよりも、不登校になる原因が何なのかとか、問題解決のほう重要ではないかと考えております。また、不登校になってしまった子の学ぶ場所とか学ぶ方をしっかり確立してあげたいと考えます。そのためにも子供や親御さんたちですね、悩んでいる方たちのお話を本当に聞きながら、ニーズに合った支援ができるようにしてもらいたいと

思っております。

子供たちはもう10年もかからないくらいで自立をしていくということを考えると、本当に今最大限に応援、支援をしてあげたいし、自分自身もどうしたらそれができるのかということも勉強していきたいと思っておりますので、これを上げさせていただきました。以上です。

○副委員長（小宮けい子君）ほかにございませんでしょうか。

それでは、今各委員が共通して関心の高い事案に絞り込みたいと思います。

まず、これまでの議論では、1つは観光振興ということが1つ、もう一つは、教育委員会に関する部分で子供たち自身が多様化してきている部分と、それについてのやはり課題と、質の高い教育、今給食もそうであり、部活の移行もそうであり、私も上げさせてもらっているDXの推進もそうであると思います。質の高い教育環境の整備についてという項目ということが、まとめると多く出ておりました。ついては、今回の所管調査では、各委員の皆様が希望される調査が行えるように、大きな枠として本市の魅力を生かした観光施策の推進についてということをも1つ、そして、多様性、子供だけでもない、教育環境も多様化してきているので、多様性を尊重した教育環境の整備についてといった調査事件であるのが適当ではないかと考えますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり。）

ありがとうございます。このように、では決定しましたので……。

○委員（岡本義之君）ちょっといいですか。本市の魅力を生かした観光施策の推進の中に、この4番目にも上がってきている文化、スポーツという概念も入れてもらえるようにしてもらいたいかなと思います。

○副委員長（小宮けい子君）私が勝手に答えてしまっていいですか。すみません。先ほどシティマラソンとか、スポーツの国際大会をここに誘致したりというのは、当然観光と関わってくるという部分で、ここも文化、スポーツ、芸術というところは観光の一つの大きな要素であるということで、入れていただくということで進めるということに決定させていただきます。

では、御異議なしということでしたので、以上で所管事務の調査を終わります。

次回は3月24日午前10時から請願・陳情の審査及び所管事務の調査を行います。

本日は以上で閉会します。

教育文化委員会 副委員長 小宮 けい子 ㊟